

令和 5 年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書

令和 6 年 9 月

三重県監査委員

監 査 第 3 0 号
令和 6 年 9 月 6 日

三重県知事 一 見 勝 之 様

三重県監査委員 伊 藤 隆
三重県監査委員 平 畑 武
三重県監査委員 山 崎 博
三重県監査委員 伊 賀 恵

令和 5 年度企業会計決算の審査について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき令和 6 年 5 月 31 日付け総務第 07-38 号
で審査に付されたこのことについて、別添のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審 査 の 概 要	1
1	審 査 の 対 象	1
2	審査の着眼点及び実施内容	1
第2	審 査 の 結 果 及 び 意 見	2
1	審 査 の 結 果	2
2	審 査 の 意 見	2
第3	経 営 の 概 要	8
1	事 業 の 概 況	8
2	患 者 数 の 状 況	8
3	決 算 の 状 況	9
第4	病 院 別 の 状 況	20
1	こころの医療センター	20
2	一 志 病 院	24
3	志 摩 病 院	28
第5	決 算 諸 表	35

令和5年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査意見書

第1 審査の概要

三重県監査委員監査基準（令和2年4月1日施行）に準拠し、次のとおり令和5年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査を実施した。

1 審査の対象

令和5年度 三重県病院事業会計

2 審査の着眼点及び実施内容

令和5年度の三重県病院事業会計の決算審査は、知事から審査に付された決算書の内容について、

- (1) 決算諸表が、地方公営企業法その他関係法令に則り、三重県病院事業庁会計規程及び会計事務手続等の諸規程に基づき適正に作成されているか
- (2) 決算の計数は正確であるか
- (3) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (4) 予算は、計画的かつ効率的に執行されているか
- (5) 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているかなどを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行った。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

「第1 審査の概要」のとおり審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められる。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に行われているものと認められる。

2 審査の意見

(1) 令和5年度決算と中期経営計画の推進について

令和5年度病院事業会計については、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の5類感染症への移行等に伴う入院収益の増加により医業収益は増加したが、感染患者受入れのための病床確保に係る国からの交付金が大きく減少したため、経常損益は、前年度に比べ約5億7,116万円悪化し約4,812万円の経常損失となり平成30年度以来の赤字となった。

純損益については、長期前受金の収益化額の精査により約29億3,762万円の特別利益が計上されたことから約28億8,950万円の純利益となり、累積欠損金は約43億9,959万円まで改善しているが、患者数が新型コロナ発生前までは回復していないことや医師不足も継続していることなどにより、中期経営計画における成果目標の達成状況は改善されていないなかで、病床確保に係る交付金が令和6年度から皆減となることから、今後、医業収益の回復の遅れにより累積欠損金が再び拡大することが懸念されている。

県民の求める医療を着実に推進するとともに地域に必要な医療提供体制の確保を図るため、令和5年度末に新たに「三重県病院事業庁 中期経営計画（令和6年度～9年度）」を策定し、6年度から目標達成に向けて取組を進めているところであり、今後も医療サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、魅力ある病院づくりを進めて医師の確保に取り組むなど、診療体制の充実を図りながら医業収益を確保するなど健全な経営に努められたい。

なお、令和5年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりである。

収益的収支の状況

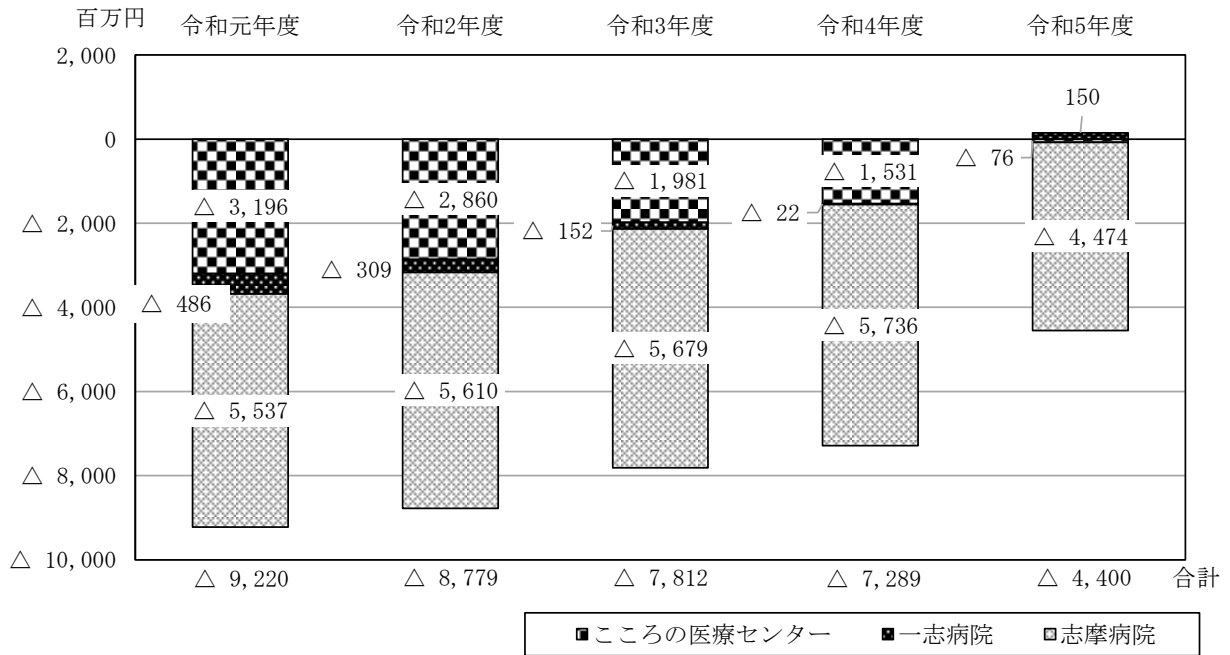
(単位：千円)

病院名等	区分	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度比 (%)
こころの医療センター	医業収益 A	1,772,147	1,710,447	61,700	103.6
	医業費用 B	3,081,991	3,119,694	△ 37,703	98.8
	医業損益 C=A-B	△ 1,309,844	△ 1,409,247	99,403	-
	医業外収益 D	1,341,871	1,982,917	△ 641,046	67.7
	医業外費用 E	126,394	123,766	2,628	102.1
	経常損益 F=C+D-E	△ 94,366	449,904	△ 544,271	-
	特別利益 G	1,549,965	0	1,549,965	皆増
	特別損失 H	0	0	0	-
	純損益	1,455,599	449,904	1,005,694	323.5
一志病院	医業収益 A	639,820	654,803	△ 14,983	97.7
	医業費用 B	982,476	925,444	57,032	106.2
	医業損益 C=A-B	△ 342,656	△ 270,641	△ 72,015	-
	医業外収益 D	457,529	428,476	29,053	106.8
	医業外費用 E	30,112	27,162	2,950	110.9
	経常損益 F=C+D-E	84,761	130,673	△ 45,912	64.9
	特別利益 G	87,185	0	87,185	皆増
	特別損失 H	0	0	0	-
	純損益	171,946	130,673	41,273	131.6
志摩病院	医業収益 A	6,301	6,401	△ 100	98.4
	医業費用 B	931,572	898,611	32,961	103.7
	医業損益 C=A-B	△ 925,271	△ 892,210	△ 33,061	-
	医業外収益 D	948,197	896,757	51,440	105.7
	医業外費用 E	60,957	62,086	△ 1,129	98.2
	経常損益 F=C+D-E	△ 38,031	△ 57,538	19,508	-
	特別利益 G	1,299,990	0	1,299,990	皆増
	特別損失 H	0	0	0	-
	純損益	1,261,959	△ 57,538	1,319,498	-
県立病院課	医業収益 A	0	0	0	-
	医業費用 B	99,661	97,078	2,583	102.7
	医業損益 C=A-B	△ 99,661	△ 97,078	△ 2,583	-
	医業外収益 D	99,803	97,653	2,150	102.2
	医業外費用 E	625	574	51	108.9
	経常損益 F=C+D-E	△ 484	0	△ 484	-
	特別利益 G	484	0	484	皆増
	特別損失 H	0	0	0	-
	純損益	0	0	0	-
合計	医業収益 A	2,418,268	2,371,651	46,617	102.0
	医業費用 B	5,095,700	5,040,827	54,873	101.1
	医業損益 C=A-B	△ 2,677,432	△ 2,669,176	△ 8,256	-
	医業外収益 D	2,847,399	3,405,802	△ 558,403	83.6
	医業外費用 E	218,088	213,587	4,501	102.1
	経常損益 F=C+D-E	△ 48,120	523,039	△ 571,159	-
	特別利益 G	2,937,625	0	2,937,625	皆増
	特別損失 H	0	0	0	-
	純損益	2,889,504	523,039	2,366,465	552.4

(注) 1 医業損益は、医業収益から医業費用を差し引いたもの。経常損益は、医業損益に医業外収益を加えて医業外費用を差し引いたもの。純損益は、経常損益に特別利益を加えて特別損失を差し引いたもの。特別利益、特別損失の計上がない場合は、経常損益と純損益は同額となる。なお、志摩病院は指定管理者の収支を含んでいない。

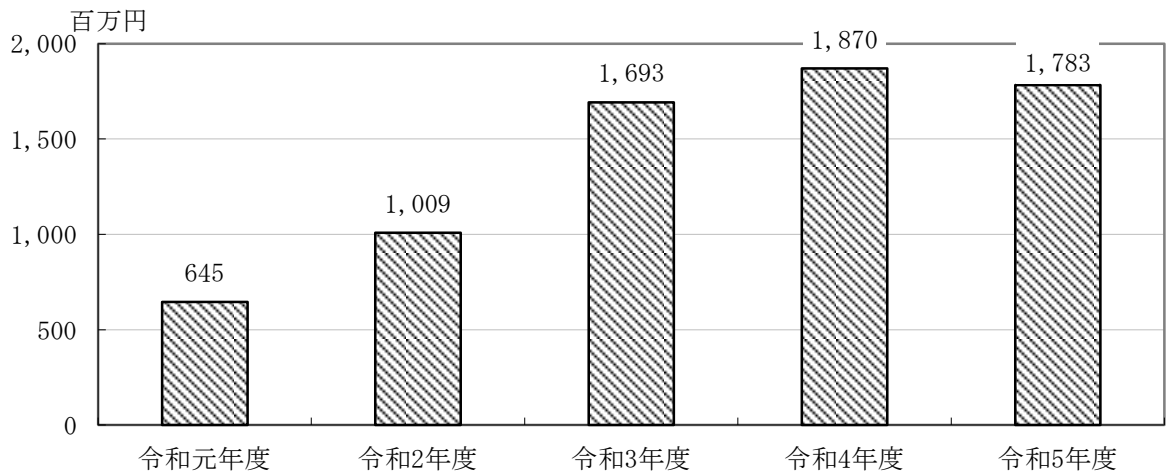
2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

未処理欠損金（累積欠損金）の推移



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

内部留保資金の推移



(注) 流動資産から流動負債（企業債を除く）を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。資金不足比率の算出方法に基づき算出している。

ア こころの医療センター

入院患者数の増加により医業収益は約6,170万円増加したが、病床確保に係る国からの交付金の大幅な減少により医業外収益が約6億4,105万円減少したため、経常損益は、前年度に比べ約5億4,427万円悪化し約9,437万円の経常損失となり令和元年度以来の赤字となった。

新型コロナの5類感染症への移行後、社会経済活動は正常に戻りつつあるが、患者数が新型コロナ発生前まで回復していないことに加え、病床確保に係る交付金の皆減により収支の悪化が懸念されるなかで、引き続き経営改善プロジェクトの取組を中心に、医療ニーズに対応した病棟の見直し等に努めているところであり、患者数の確保や診療単価の向上等により収益の増加を図るとともに、コスト管理の徹底により費用の削減を図るなど、一層の経営改善に努められたい。また、医師不足が継続しているため、県民の求める医療が着実に提供できるよう大学等への派遣要請を継続するとともに、魅力ある病院づくりを行うことにより医療従事者の確保や定着に努められたい。

令和6年2月に災害拠点精神科病院の指定を受けるとともに、3月には新興感染症対応のための医療措置協定を締結しているところであり、今後も災害発生時や新興感染症の拡大時においても精神科医療の中核病院として役割を果たしながら、精神科救急・急性期医療及び認知症治療、依存症治療等の専門的医療を提供するとともに、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性を踏まえ、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努められたい。

イ 一志病院

新型コロナの5類感染症への移行後も外来患者数は回復していないことなどから医業収益は減少し、給与費や減価償却費等の医業費用も増加したため、経常損益は前年度に比べ約4,591万円悪化したものの、平成25年度から11年連続の黒字となる約8,476万円の経常利益となり、一志病院における累積欠損金は解消されている。

令和5年10月には在宅復帰を支援するため地域包括ケア病床の運用を開始したところであり、今後も引き続き公立病院としての役割を果たしていくことができるよう、訪問診療等の在宅療養支援、住民健診等の予防医療の取組等、地域のニーズに沿った医療を幅広く提供しながら収益の増加を図るなど健全な経営に努められたい。

また、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践により地域に最適な医療サービスを安定的に提供しながら、総合診療医やプライマリ・ケアエキスパートナース等の地域に貢献する医療人材の育成に取り組まれたい。

ウ 志摩病院

令和5年度は、指定管理者制度による第2期指定管理期間の2年目となり、前年度に引き続き新型コロナ対策に積極的に対応しつつ、地域のニーズに応じた診療機能の充実、医師の確保等に取り組んでいるが、新型コロナの5類感染症への移行後も、入院患者数は前年度より増加したものの新型コロナ発生前までは回復していないなか、病床確保に係る国からの交付金の大幅な減少により指定管理者の経常損益は令和元年度以来の赤字となった。

第2期指定管理期間に係る「三重県立志摩病院の管理運営に関する基本協定」(以下「基本協定」という。)では、政策的医療交付金により、必要な診療機能の確保による良質で満足度の高い医療の安定的・継続的な提供を求めているほか、経営努力によってもなお不採算となる特定診療科については、県の地域医療確保交付金制度により診療機能が維持できるよう支援することとしている。

病床確保に係る交付金が皆減となることも踏まえ、引き続き基本協定に基づき、志摩地域の中核的な医療機関として安定的・継続的に医療が提供されるよう、指定管理者と十分な連携を図り、二次救急医療等の診療機能の充実、医師の確保等に取り組むとともに、経営努力によってもなお不採算となる特定診療科への支援など、診療機能を維持しながら経営改善が着実に進められるよう、指定管理者に対する指導や支援を行われたい。

(2) 未収金の回収と発生防止について

令和5年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の過年度未収金は、前年度に比べて約96万円減少し約4,988万円となっている。

令和5年度については、引き続き電話督促、催告書の送付、臨戸訪問等を行うとともに、回収困難案件については弁護士法人に回収委託を行うなどにより、約415万円の過年度未収金を回収している。一方、高額療養制度等の各種福祉制度の申請支援やクレジットカードによる収納等に取り組んでいるが、新たな未収金が約348万円発生している。

このため、過年度未収金の早期回収に取り組むとともに、引き続き未収金の発生防止に取り組まれない。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：件、千円)

病 院 名	区分	令和5年度末 (A)	令和4年度末 (B)	比較増減 (A)-(B)
こころの医療センター	件数	212	226	△ 14
	金額	36,924	36,849	75
一志病院	件数	65	72	△ 7
	金額	1,087	1,264	△ 177
志摩病院	件数	101	107	△ 6
	金額	11,866	12,721	△ 855
合 計	件数	378	405	△ 27
	金額	49,876	50,833	△ 957

(注) 1 志摩病院分は、指定管理者による運営に移行する以前の未収金（平成 24 年 3 月 31 日までに発生したもの）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

(単位：件、千円)

病院名	区分	令和5年度				令和4年度				比較増減		
		新規発生 (A)	回収 (B)	不納欠損 (C)	計 (A-B-C)	新規発生 (a)	回収 (b)	不納欠損 (c)	計 (a-b-c)	新規発生 (A-a)	回収 (B-b)	不納欠損 (C-c)
こころの医療センター	件数	18	31	1	△14	25	39	17	△31	△7	△8	△16
	金額	3,452	3,306	71	75	2,937	3,184	2,336	△2,583	515	121	△2,264
一志病院	件数	5	12	0	△7	54	2	0	52	△49	10	0
	金額	26	203	0	△177	249	24	0	225	△223	178	0
志摩病院	件数	0	5	1	△6	0	1	0	△1	0	4	1
	金額	5	641	219	△855	0	451	0	△451	5	190	219
合 計	件数	23	48	2	△27	79	42	17	20	△56	6	△15
	金額	3,483	4,150	290	△957	3,186	3,660	2,336	△2,810	297	490	△2,045

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

第3 経営の概要

1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入している。

3病院の許可病床数は、令和5年度末時点で計736床である。こころの医療センターは、許可病床数、稼働病床数ともに318床である。一志病院は、許可病床数は82床であるが、療養病床全36床が休床となっており、稼働病床数は一般病床46床である。志摩病院は、許可病床数が336床であるが、一般病床52床が休床となっており、稼働病床数は一般病床184床及び精神病床100床の合計284床である。

県立病院の概要

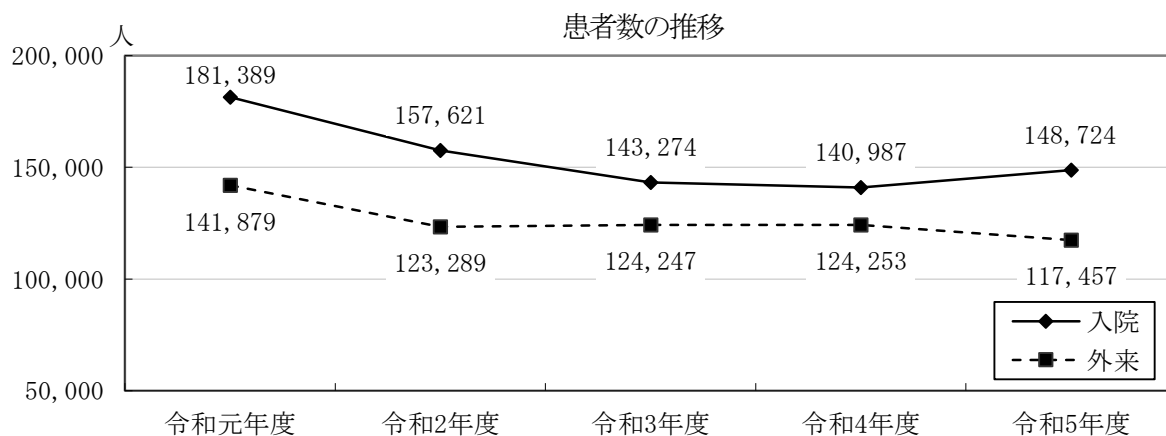
令和6年3月31日現在

病院名		こころの医療センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (休診中のものを除く)		精神科、内科、 脳神経内科、歯科 (内科・歯科は入院患者 にのみ対応)	内科、外科、整形外科、 眼科	内科、循環器内科、外科、 脳神経外科、小児科、 産婦人科、整形外科、 皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻咽喉科、 精神科、脳神経内科、 放射線科、漢方内科、漢 方皮膚科
許可 病床 数	一般		46 (46)	236 (184)
	療養		36 (0)	
	精神	318 (318)		100 (100)
	計	318 (318)	82 (46)	336 (284)

(注) 許可病床数の()は、稼働病床数

2 患者数の状況

令和5年度の入院患者数は延べ148,724人(1日平均406人)で、前年度に比べ7,737人増加し、外来患者数は延べ117,457人(1日平均483人)で、前年度に比べ6,796人減少している。



3 決算の状況

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入率 (B)/(A)
病院事業収益	8,230,095,000	8,216,603,238	△ 13,491,762	99.8%
医業収益	2,438,137,000	2,429,030,402	△ 9,106,598	99.6%
医業外収益	2,854,336,000	2,849,948,265	△ 4,387,735	99.8%
特別利益	2,937,622,000	2,937,624,571	2,571	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額 (A)-(B)	執行率 (B)/(A)
病院事業費用	5,382,721,000	5,325,071,871	57,649,129	98.9%
医業費用	5,243,816,000	5,186,177,447	57,638,553	98.9%
医業外費用	138,905,000	138,894,424	10,576	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 病院事業収益の決算額が予算額を1,349万1,762円下回っているのは、主に入院収益が見込みより少なかったことによる。
- ② 病院事業費用の決算額が予算額を5,764万9,129円下回っているのは、主に経費(光熱水費、委託費等)等の医業費用の執行残による。

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入率 (B)/(A)
資本的収入	824,743,000	800,796,225	△ 23,946,775	97.1%
企業債	394,700,000	369,500,000	△ 25,200,000	93.6%
県費負担金	404,213,000	403,579,337	△ 633,663	99.8%
固定資産売却代金	25,830,000	25,830,888	888	100.0%
雑収入	0	1,886,000	1,886,000	-

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む(ただし、課税取引なし)。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額 (A)-(B)	執行率 (B)/(A)
資本的支出	1,202,467,086	1,173,916,775	28,550,311	97.6%
建設改良費	404,315,086	375,766,668	28,548,418	92.9%
企業債償還金	707,552,000	707,550,107	1,893	100.0%
長期借入金償還金	90,000,000	90,000,000	0	100.0%
長期貸付金	600,000	600,000	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額を2,394万6,775円下回っているのは、主に建設改良費が見込みより少なかったことに伴う企業債の減による。
- ② 資本的支出の決算額が予算額を2,855万311円下回っているのは、主に資産購入費等の建設改良費の執行残による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億7,312万550円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額132万789円及び過年度分損益勘定留保資金3億7,179万9,761円で補てんしている。

(2) 経営成績

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	8,203,291,831	5,777,453,121	2,425,838,710	142.0%
医業収益	2,418,267,909	2,371,651,078	46,616,831	102.0%
医業外収益	2,847,399,351	3,405,802,043	△ 558,402,692	83.6%
特別利益	2,937,624,571	0	2,937,624,571	皆増
総費用	5,313,787,403	5,254,413,800	59,373,603	101.1%
医業費用	5,095,699,550	5,040,826,858	54,872,692	101.1%
医業外費用	218,087,853	213,586,942	4,500,911	102.1%
医業損益	△ 2,677,431,641	△ 2,669,175,780	△ 8,255,861	-
経常損益	△ 48,120,143	523,039,321	△ 571,159,464	-
純損益	2,889,504,428	523,039,321	2,366,465,107	552.4%

令和5年度の総収益は82億329万1,831円で、前年度に比べ24億2,583万8,710円増加している。これは主に、過年度の長期前受金収益化の補正による特別利益の計上による。

総費用は53億1,378万7,403円で、前年度に比べ5,937万3,603円増加している。これは主に、前年度に取得した資産にかかる減価償却費の増等に伴う医業費用の増による。

この結果、純損益は28億8,950万4,428円の黒字となり、前年度に比べ23億6,646万5,107円増加している。

なお、病院別の純損益は、こころの医療センターが14億5,559万8,512円の黒字、一志病院が1億7,194万6,446円の黒字、志摩病院が12億6,195万9,470円の黒字となっている。

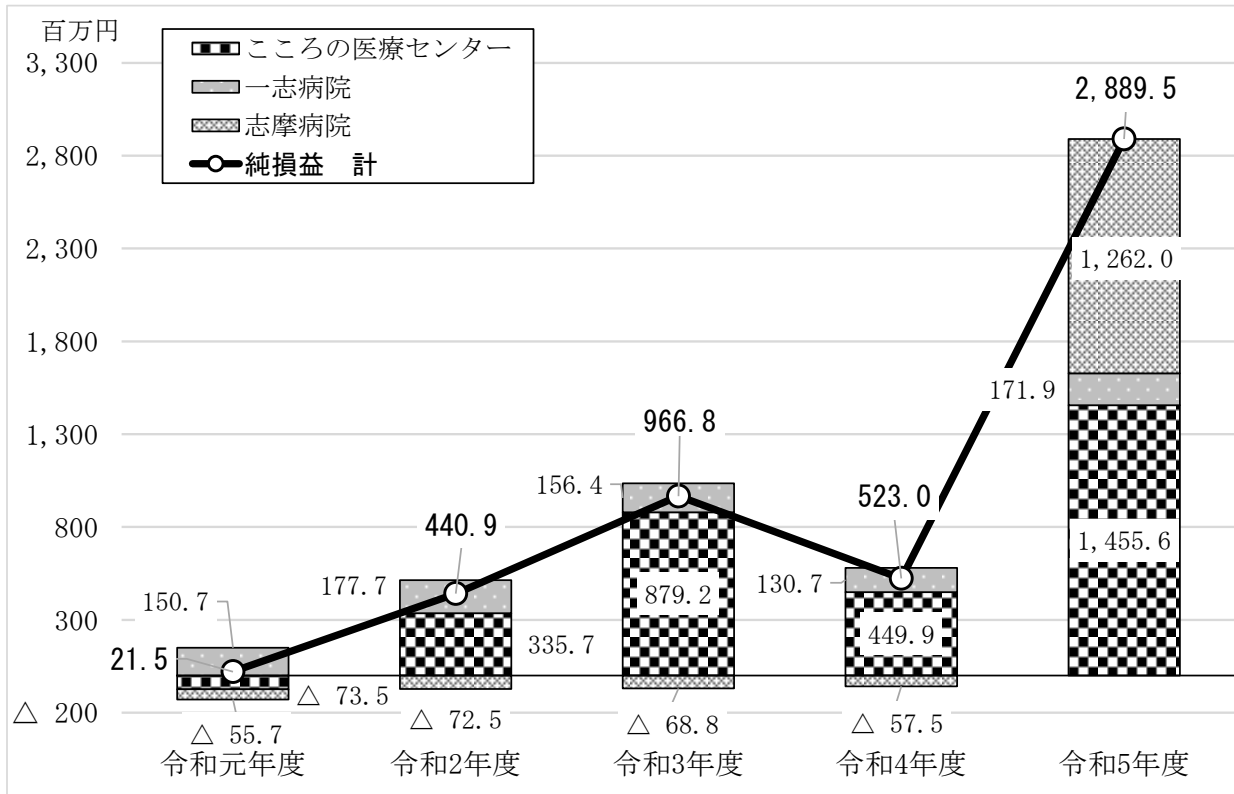
病院別純損益の状況

(単位：円)

病院名等	総収益(A)	総費用(B)	純損益(A)-(B)
こころの医療センター	4,663,982,850	3,208,384,338	1,455,598,512
一志病院	1,184,533,960	1,012,587,514	171,946,446
志摩病院	2,254,488,231	992,528,761	1,261,959,470
県立病院課	100,286,790	100,286,790	0
合計	8,203,291,831	5,313,787,403	2,889,504,428

病院別純損益の推移

(単位:百万円)



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

(3) 一般会計繰入金

(単位：円)

病院名等	区分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
こころの 医療センター	収益的収入	1,191,312,000	1,846,902,000	△ 655,590,000	64.5%
	資本的収入	248,601,461	251,461,277	△ 2,859,816	98.9%
	計	1,439,913,461	2,098,363,277	△ 658,449,816	68.6%
一志病院	収益的収入	402,940,000	379,782,860	23,157,140	106.1%
	資本的収入	21,924,001	24,514,790	△ 2,590,789	89.4%
	計	424,864,001	404,297,650	20,566,351	105.1%
志摩病院	収益的収入	640,738,000	610,989,000	29,749,000	104.9%
	資本的収入	132,591,375	133,992,602	△ 1,401,227	99.0%
	計	773,329,375	744,981,602	28,347,773	103.8%
県立病院課	収益的収入	98,724,000	96,563,000	2,161,000	102.2%
	資本的収入	462,500	462,500	0	100.0%
	計	99,186,500	97,025,500	2,161,000	102.2%
合計	収益的収入	2,333,714,000	2,934,236,860	△ 600,522,860	79.5%
	資本的収入	403,579,337	410,431,169	△ 6,851,832	98.3%
	計	2,737,293,337	3,344,668,029	△ 607,374,692	81.8%

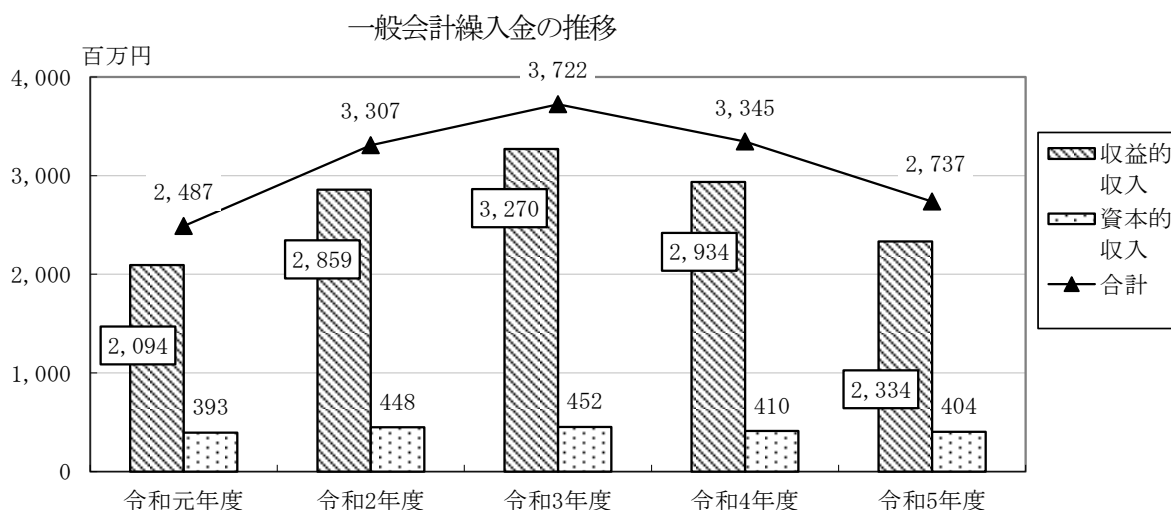
(注) 1 収益的収入：病院運営に係る政策的医療及び不採算医療等に要する経費の繰入金

2 資本的収入：建設改良に要する経費の繰入金

救急医療の確保、特殊医療に要する経費など、経営による収入をもって充てることが適当でない経費等については、総務省から繰出し基準が示されており、これに基づき一般会計から繰入が行われている。

令和5年度の収益的収入の繰入金は、23億3,371万4,000円で、前年度に比べ6億52万2,860円減少している。これは主に、新型コロナ対策に係る国からの交付金等を財源とした繰入金の減による。

資本的収入の繰入金は、4億357万9,337円で、前年度に比べ685万1,832円減少している。これは主に、企業債償還金の減に伴う繰入金の減による。



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

(4) 剰余金計算書

(単位：円)

区分	令和4年度末 残高	令和4年度 処分額	令和5年度 変動額	令和5年度末 残高
資本金	311,409,778	0	0	311,409,778
剰余金	△ 5,917,535,728	0	2,889,504,428	△ 3,028,031,300
資本剰余金	1,371,558,750	0	0	1,371,558,750
受贈財産評価額	12,058,750	0	0	12,058,750
補助金	0	0	0	0
県費負担金	1,359,500,000	0	0	1,359,500,000
その他資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金	△ 7,289,094,478	0	2,889,504,428	△ 4,399,590,050
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	△ 7,289,094,478	0	2,889,504,428	△ 4,399,590,050
資本合計	△ 5,606,125,950	0	2,889,504,428	△ 2,716,621,522

- ① 資本金の令和5年度末残高は、令和4年度末から変動がなかったため、令和4年度末残高と同額の3億1,140万9,778円となっている。
- ② 剰余金の令和5年度末残高は、令和4年度末残高△59億1,753万5,728円から利益剰余金により28億8,950万4,428円改善し、△30億2,803万1,300円となっている。

なお、未処理欠損金の令和5年度末残高は、令和4年度末残高72億8,909万4,478円から令和5年度の純利益分28億8,950万4,428円が改善し、43億9,959万50円となっている。

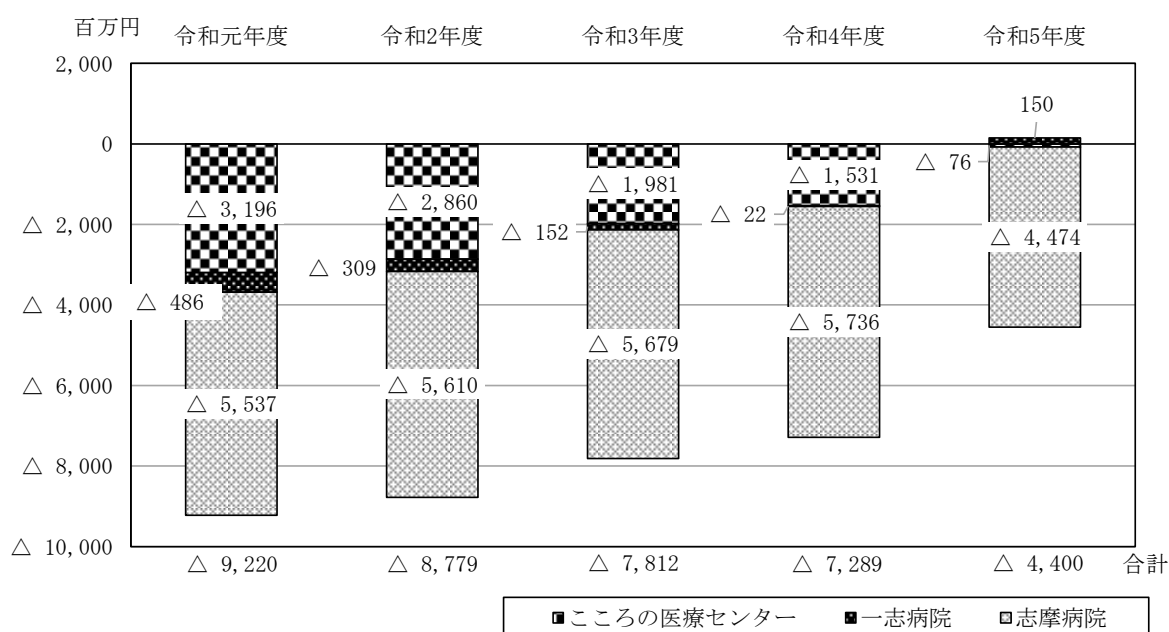
(5) 欠損金処理計算書

(単位：円)

区分	令和5年度末残高	欠損金処理額	処理後残高
資本金	311,409,778	0	311,409,778
剰余金	△ 3,028,031,300	0	△ 3,028,031,300
資本剰余金	1,371,558,750	0	1,371,558,750
未処理欠損金	△ 4,399,590,050	0	△ 4,399,590,050

未処理欠損金 43 億 9,959 万 50 円は、その全額を翌年度へ繰り越している。

未処理欠損金（累積欠損金）の推移（再掲）



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

令和5年度末の未処理欠損金（累積欠損金）の残高は、43 億 9,959 万 50 円で、その内訳は、こころの医療センターが7,561 万 2,991 円、志摩病院が 44 億 7,436 万 944 円となっている。なお、一志病院では、累積欠損金は解消されて利益剰余金が1 億 5,038 万 3,885 円となっている。

(6) 財政状態

ア 貸借対照表

(単位：円)

科目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
固定資産	7,694,271,090	7,992,067,518	△ 297,796,428	96.3%
流動資産	2,310,895,423	2,533,685,826	△ 222,790,403	91.2%
資産合計	10,005,166,513	10,525,753,344	△ 520,586,831	95.1%
固定負債	10,459,862,809	10,896,534,407	△ 436,671,598	96.0%
流動負債	1,265,114,674	1,370,924,166	△ 105,809,492	92.3%
繰延収益	996,810,552	3,864,420,721	△ 2,867,610,169	25.8%
負債合計	12,721,788,035	16,131,879,294	△ 3,410,091,259	78.9%
資本金	311,409,778	311,409,778	0	100.0%
剰余金	△ 3,028,031,300	△ 5,917,535,728	2,889,504,428	-
資本合計	△ 2,716,621,522	△ 5,606,125,950	2,889,504,428	-
負債・資本合計	10,005,166,513	10,525,753,344	△ 520,586,831	95.1%

(ア) 固定資産

決算額は76億9,427万1,090円で、前年度に比べ2億9,779万6,428円(3.7%)減少している。これは主に、施設・設備の減価償却による。

(イ) 流動資産

決算額は23億1,089万5,423円で、前年度に比べ2億2,279万403円(8.8%)減少している。これは主に、一般会計繰入金に係る未収金の減による。

(ロ) 固定負債

決算額は104億5,986万2,809円で、前年度に比べ4億3,667万1,598円(4.0%)減少している。これは主に、企業債の元金償還に伴う残高の減による。

(ハ) 流動負債

決算額は12億6,511万4,674円で、前年度に比べ1億580万9,492円(7.7%)減少している。これは主に、退職手当に係る未払金の減による。

(ニ) 繰延収益

決算額は9億9,681万552円で、前年度に比べ28億6,761万169円(74.2%)減少している。これは、過年度の長期前受金の収益化による。

(ホ) 資本金

決算額は3億1,140万9,778円で、前年度と同額である。

(ヘ) 剰余金(△は未処理欠損金)

決算額は△30億2,803万1,300円で、前年度に比べ28億8,950万4,428円未処理欠損金が減少している。これは、純利益が生じたことによる。

イ 経営分析

項目		令和5年度	令和4年度	(参考) 令和4年度 全国平均	算式
資産・資本	自己資本構成比率 (%)	△ 17.2	△ 16.5	26.5	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率 (%)	88.0	87.3	86.8	$\frac{\text{固定資産}}{\text{(固定負債+自己資本)}} \times 100$
	流動比率 (%)	182.7	184.8	174.4	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
回転率	固定資産回転率 (回)	0.35	0.33	0.64	$\frac{\text{医業収益}}{\text{(期首固定資産+期末固定資産)/2}}$
	未収金回転率 (回)	3.23	2.61	4.24	$\frac{\text{医業収益}}{\text{(期首未収金+期末未収金)/2}}$
収益	総資本経常利益率 (%)	△ 0.47	5.05	2.13	$\frac{\text{経常利益}}{\text{(期首総資本+期末総資本)/2}} \times 100$
	経常収支比率 (%)	99.1	110.0	101.5	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
	職員1人あたり医業収益 (千円)	8,334	7,755	12,244	$\frac{\text{医業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$

- (注) 1 自己資本=資本金+剰余金+繰延収益
 2 総資本=負債・資本合計
 3 損益勘定所属職員数=医業活動に従事する職員数
 4 令和4年度全国平均は、「令和4年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」の都道府県立病院の平均値
 5 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している

(ア) 自己資本構成比率

総資本(負債・資本合計)に占める自己資本の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均より低い。これは主に、全国の都道府県立病院と比べ、資本金が少ないことによる。

(イ) 固定資産対長期資本比率

長期資金に対する固定資産の割合を示し、割合が低いほど財政基盤が安定し、100%を上回ると過大投資となることを表す。全国平均より高い。

(ロ) 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全度が高いことを表す。全国平均より高い。

(ハ) 固定資産回転率

固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを示し、割合が高いほど固定資産が有効に利用されていることを表す。全国平均より低い。これは主に、指定管理者の入院・外来収益が、医業収益に含まれないことによる。

(ニ) 未収金回転率

未収金に対する医業収益の割合を示し、一般的に割合が高いほど未収期間が短く、早期に回収されていることを表す。全国平均より低い。

(カ) 総資本経常利益率

総資本（負債・資本合計）の投入によりどれだけ経常利益を上げたかを示し、割合が高いほど総合的な収益性が高いことを表す。全国平均より低い。これは主に一般会計繰入金の減少に伴い経常利益が減少したことによる。

(キ) 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。

(ク) 職員1人あたり医業収益

職員1人あたりの医業収益を示し、金額が大きいほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。これは主に、医業収益を多く見込めない精神科が、医業収益の約7割を占めていることによる。

ウ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項 目	令和5年度(A)	令和4年度(B)	比較増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュ・フロー①	909,845,748	278,483,317	631,362,431
投資活動によるキャッシュ・フロー②	63,419,458	△ 167,519,079	230,938,537
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 428,050,107	△ 338,117,613	△ 89,932,494
資金増減額 (①+②+③)	545,215,099	△ 227,153,375	772,368,474
資金期首残高	1,295,915,476	1,523,068,851	△ 227,153,375
資金期末残高	1,841,130,575	1,295,915,476	545,215,099

業務活動によるキャッシュ・フローは、一般会計繰入金にかかる未収金の減等によりプラス9億984万5,748円となり、前年度に比べ6億3,136万2,431円増加している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、一般会計繰入金による収入4億357万9,337円などによりプラス6,341万9,458円となり、建設改良費の減等により前年度に比べ2億3,093万8,537円増加している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、企業債の償還による支出7億755万107円などによりマイナス4億2,805万107円となり、企業債収入の減等により前年度に比べ8,993万2,494円減少している。

この結果、令和5年度の資金期末残高は、資金期首残高に比べ5億4,521万5,099円増加し18億4,113万575円となった。

- (注) 1 業務活動によるキャッシュ・フロー (①)：事業本来の業務活動により、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フロー (②)：固定資産の取得や企業債の償還に係る一般会計繰入金の受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フロー (③)：企業債の借入・償還などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 4 一般的には①はプラス、②及び③はマイナスとなり、①の額 > (②の額+③の額) の形がキャッシュ・フローが良い循環をしているといわれる (業務活動による収入で投資や借入金返済の資金を賄っている状態)。

第4 病院別の状況

1 こころの医療センター

(1) 病院の概況

こころの医療センターは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」により設置が義務づけられた県立精神科病院として、精神疾患の発生予防から医療、社会復帰までの精神医療ニーズに対応した専門医療を提供している。

特に、精神障がい者の社会復帰を積極的に促進するため、各種作業療法及びデイケアを行うとともに、アルコール依存症患者及び認知症患者についての専門的な治療も行い、県の精神科医療の基幹病院としての役割を果たしている。

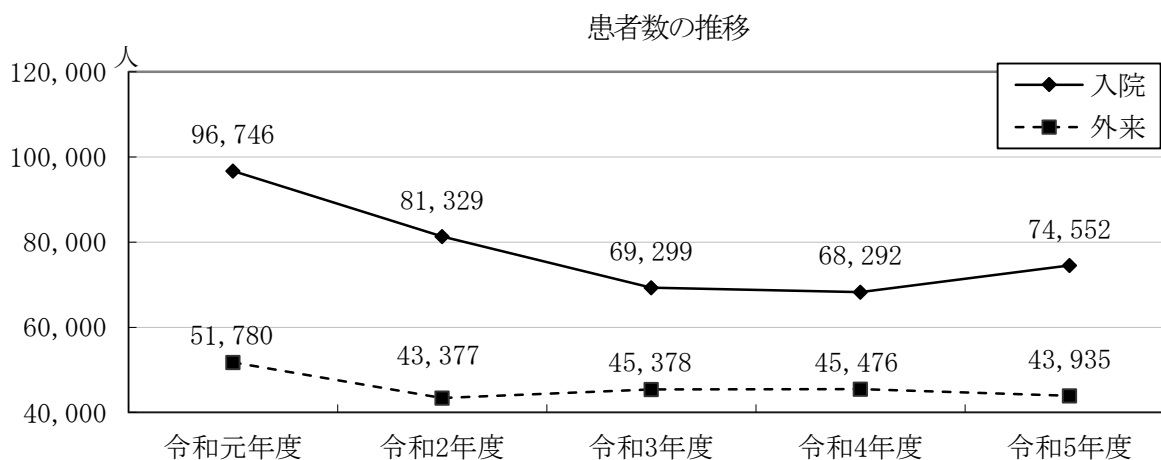
今後の新興感染症に備えた病床の個室化に伴い、令和6年1月に許可病床数を348床から318床に減床しており、稼働病床数は許可病床数と同数である。

(2) 患者数の状況

令和5年度の延べ入院患者数は74,552人で、前年度に比べ6,260人増加している。病床利用率は62.1%で、前年度に比べ8.3ポイント増加している。

延べ外来患者数は43,935人で、前年度に比べ1,541人減少している。

項目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	74,552	68,292	6,260
1日平均入院患者数 (人)	203.7	187.1	16.6
延べ外来患者数 (人)	43,935	45,476	△ 1,541
1日平均外来患者数 (人)	180.8	187.1	△ 6.3
病床利用率 (%)	62.1	53.8	8.3



(3) 経営成績

総収益は46億6,398万2,850円で、前年度に比べ9億7,061万9,140円増加している。これは主に、特別利益の計上による。

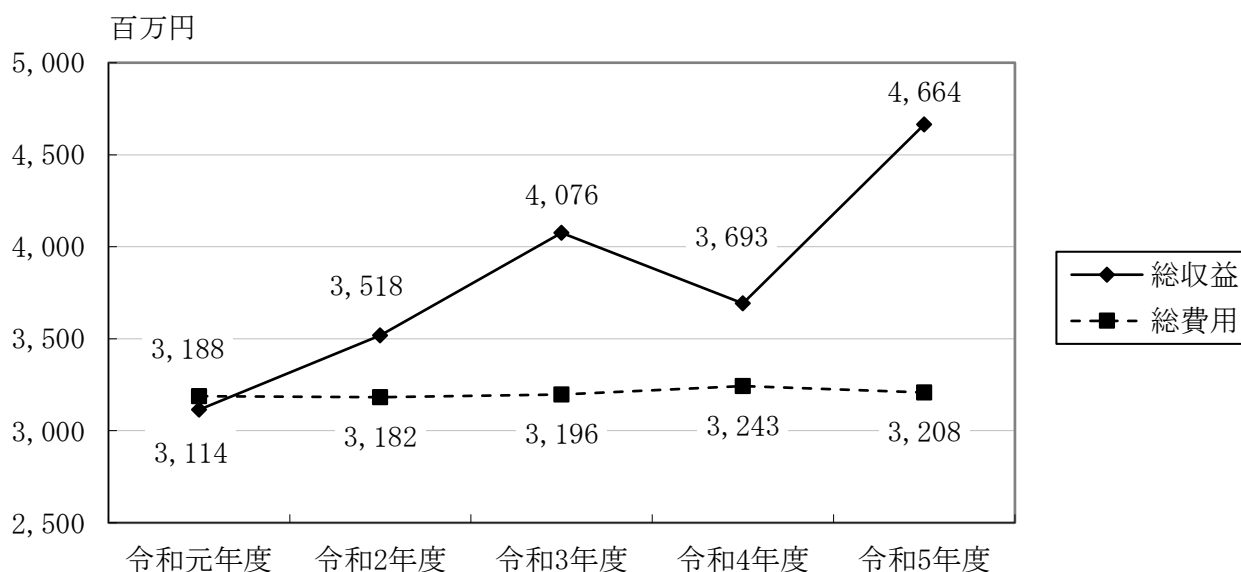
総費用は32億838万4,338円で、前年度に比べ3,507万5,048円減少している。これは主に、給与費の減による。

この結果、純損益は14億5,559万8,512円の黒字となり、前年度に比べ10億569万4,188円改善している。

(単位:円)

科目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	4,663,982,850	3,693,363,710	970,619,140	126.3%
医業収益	1,772,146,770	1,710,446,938	61,699,832	103.6%
医業外収益	1,341,871,137	1,982,916,772	△ 641,045,635	67.7%
特別利益	1,549,964,943	0	1,549,964,943	皆増
総費用	3,208,384,338	3,243,459,386	△ 35,075,048	98.9%
医業費用	3,081,990,574	3,119,693,707	△ 37,703,133	98.8%
医業外費用	126,393,764	123,765,679	2,628,085	102.1%
医業損益	△ 1,309,843,804	△ 1,409,246,769	99,402,965	-
経常損益	△ 94,366,431	449,904,324	△ 544,270,755	-
純損益	1,455,598,512	449,904,324	1,005,694,188	323.5%

総収益と総費用の推移



(4) 経営比較

全国の精神科自治体病院との経営比較では、1日平均入院患者数及び同外来患者数について、全国平均より良い値となっている。

(こころの医療センターは5年度、全国平均は4年度での比較)

項目	令和5年度	令和4年度	令和4年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	204	187	162	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	181	187	143	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	19,505	20,161	23,046	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	6,668	6,616	8,706	多いほど良い
経常収支比率 (%)	97.1	113.5	102.7	高いほど良い
医業収支比率 (%)	62.3	58.7	78.4	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	106.9	113.7	82.0	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	33.3	26.5	31.7	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常決算との差異)により、通常決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 令和4年度全国平均は、「令和4年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(全事業の精神科病院平均)。

3 経常収支比率=経常収益/経常費用

4 医業収支比率=医業収益/医業費用

5 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

6 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和5年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和4年度 実績	令和5年度 目標	令和5年度 実績	
1 医療機能等の充実に 向けた主要な取組	(1) 精神科救急・急性期医療の提供				
		精神科救急患者受入件数 (件)	117	180	196
	(2) 専門的医療の提供				
	①認知症治療	認知症入院患者数 (人/日)	29.2	40.0	32.5
	②アルコール依存症治療	アルコール依存症入院患者数 (人/日)	15.8	30.0	21.7
	③精神科早期介入・早期予防	精神科早期介入対応件数 (件)	192	200	223
	(3) 地域生活を支えるための支援				
	①デイケアサービス	デイケア・ショートケア延べ患者数 (人)	10,125	12,500	9,483
	②訪問看護サービス	訪問看護延べ患者数 (人)	4,317	5,000	3,803
	③入院患者の退院支援	入院後1年以内の患者退院率 (%)	90.7	95.0	97.7
	④関係機関等との連携	障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 (件)	9	9	9
	⑤精神疾患・障がいにかかる普及啓発	こころしつとこセミナー開催件数 (件)	40	35	35
	(4) 人材育成の充実				
	①研修医・看護実習生等の受入れ	研修医・看護実習生等受入延べ人数 (人)	1,968	2,200	2,168
	②職員の育成	人材育成研修回数 (回)	6	6	5
	(5) 業務改善の推進				
	①危機管理対策	危機管理研修等参加率 (%)	100.0	95.0	99.7
②患者満足度の向上	患者満足度 (%)	86.9	94.3	86.0	
2 経営の効率化等 に向けた主要な取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上				
		経常収支比率 (%)	113.9	99.4	97.1
		医業収支比率 (%)	54.8	65.2	57.5
	(2) 患者数の確保に向けた取組				
		1日平均入院患者数 (人/日)	187.1	230.0	203.7
		1日平均外来患者数 (人/日)	187.1	200.0	180.8
	(3) 医師・看護師の確保				
	医師充足率 (%)	78.4	100.0	79.2	
	看護師充足率 (%)	100.0	100.0	98.9	

2 一志病院

(1) 病院の概況

一志病院は、津市の白山及び美杉地域を中心とした診療圏において、救急医療及び高齢者医療を中心とした医療サービスを提供している。地域の過疎化・高齢化に対応するため、訪問診療等の在宅療養支援を進め、健康診断や健康教室の開催などの予防医療の普及啓発にも努めている。

また、平成19年度からは、内科において患者及び地域住民の健康問題を幅広く担当する家庭医療の実践に取り組んでいる。

許可病床数は、令和3年度に療養病床を40床から4床削減して36床とし、一般病床46床と合わせて82床となっている。なお、療養病床全36床が休床中であり、稼働病床数は46床となっている。

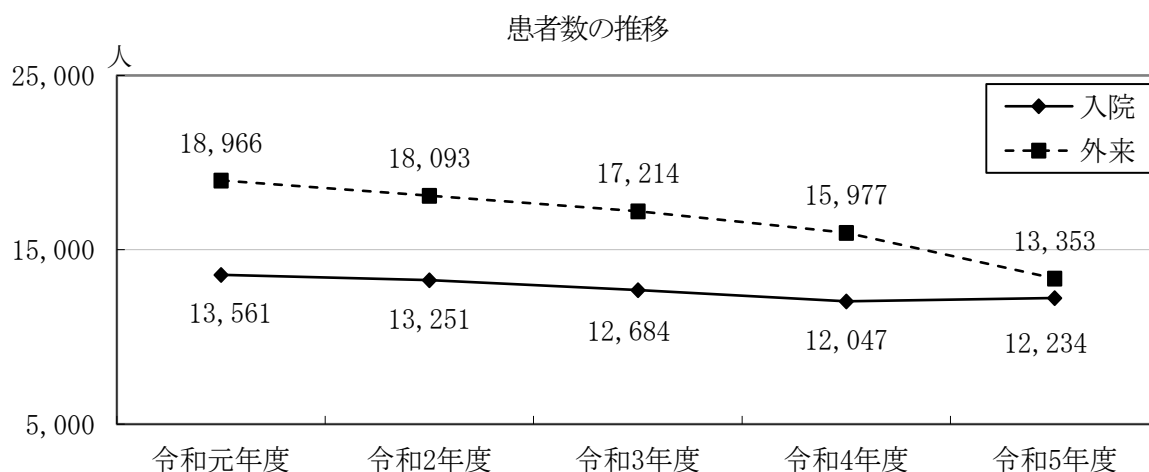
(2) 患者数の状況

令和5年度の延べ入院患者数は12,234人で、前年度に比べ187人増加している。

休床を含む許可病床ベースの病床利用率は40.8%で、前年度に比べ0.5ポイント増加している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は72.7%で、前年度に比べ0.9ポイント増加している。

延べ外来患者数は13,353人で、前年度に比べ2,624人減少している。

項目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	12,234	12,047	187
1日平均入院患者数 (人)	33.4	33.0	0.4
延べ外来患者数 (人)	13,353	15,977	△ 2,624
1日平均外来患者数 (人)	55.0	65.7	△ 10.7
病床利用率(休床含む) (%)	40.8	40.3	0.5
〃 (休床除く) (%)	72.7	71.8	0.9
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	23.9	25.6	△ 1.7



(3) 経営成績

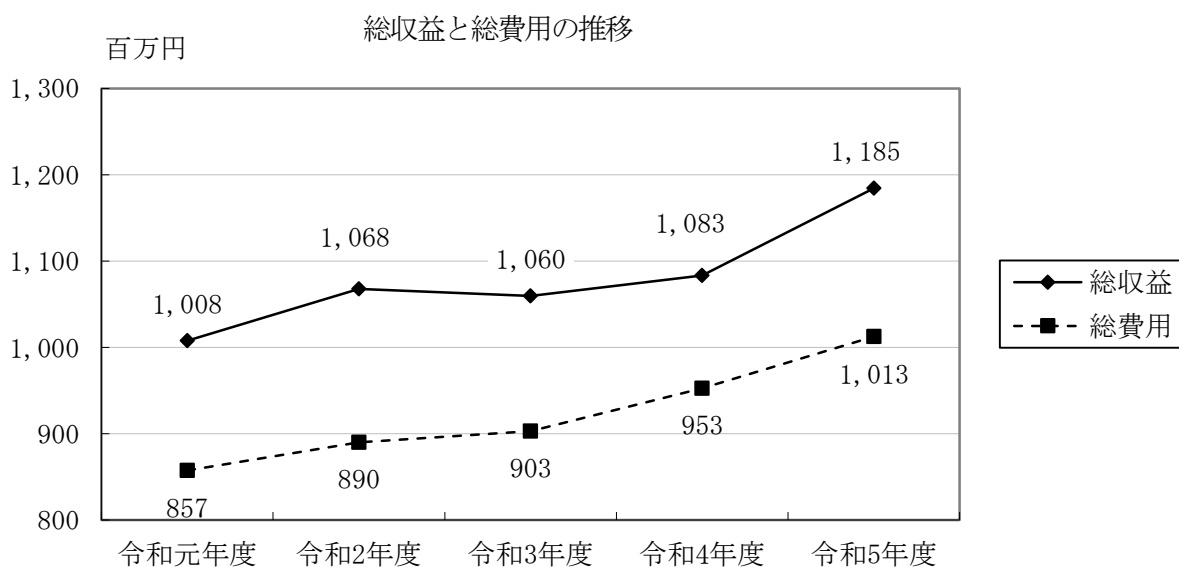
総収益は11億8,453万3,960円で、前年度に比べ1億125万5,076円増加している。
これは主に、特別利益の計上による。

総費用は10億1,258万7,514円で、前年度に比べ5,998万2,036円増加している。
これは主に、給与費の増による。

この結果、純損益は1億7,194万6,446円の黒字となり、前年度に比べ4,127万3,040円改善している。

(単位：円)

科目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	1,184,533,960	1,083,278,884	101,255,076	109.3%
医業収益	639,819,947	654,803,199	△ 14,983,252	97.7%
医業外収益	457,528,580	428,475,685	29,052,895	106.8%
特別利益	87,185,433	0	87,185,433	皆増
総費用	1,012,587,514	952,605,478	59,982,036	106.3%
医業費用	982,475,653	925,443,896	57,031,757	106.2%
医業外費用	30,111,861	27,161,582	2,950,279	110.9%
医業損益	△ 342,655,706	△ 270,640,697	△ 72,015,009	-
経常損益	84,761,013	130,673,406	△ 45,912,393	64.9%
純損益	171,946,446	130,673,406	41,273,040	131.6%



(4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との経営比較では、患者1人1日あたり入院収益、同外来収益及び経常収支比率について、全国平均より良い値となっている。

(一志病院は5年度、全国平均は4年度での比較)

項 目	令和5年度	令和4年度	令和4年度全国平均		備考
			50床以上 100床未満	(参考) 50床未満	
1日平均入院患者数 (人)	33	33	44	21	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	55	66	129	84	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	31,647	30,831	27,021	26,284	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	10,400	10,750	9,287	8,440	多いほど良い
経常収支比率 (%)	108.2	113.4	101.8	101.3	高いほど良い
医業収支比率 (%)	73.8	77.9	74.2	64.4	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	81.5	75.9	75.7	84.4	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	34.4	32.7	22.3	32.3	低いほど良い

(注)1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常の決算との差異)により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 一志病院の許可病床数は82床、稼働病床数は46床

3 令和4年度全国平均は、「令和4年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(全事業の50床以上100床未満(及び50床未満)の病院平均)。

4 経常収支比率=経常収益/経常費用

5 医業収支比率=医業収益/医業費用

6 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

7 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和5年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和4年度 実績	令和5年度 目標	令和5年度 実績	
1 医療機能等の 充実に向けた 主要な取組	(1) 地域医療の推進				
	①在宅療養支援	訪問診療、訪問看護等延べ患者数(人)	4,820	4,800	4,147
	②予防医療	住民健診、人間ドック、がん検診受検者数(人)	984	1,200	964
	③救急医療	救急患者受入件数(件)	655	800	680
	④医療過疎地域への支援	医療過疎地域等への支援件数(件)	3	5	3
	⑤関係機関等との連携	多職種連携による取組件数(件)	13	15	18
	(2) 人材育成の充実				
	①総合診療医の育成	研修医・医学生受入延べ人数(人)	408	500	427
	②看護実習生等の受入れ	看護実習生等受入延べ人数(人)	380	350	336
	③医療従事者の能力向上への支援	学会、研修、カンファレンス等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
	(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進				
		学会、論文等発表件数(件)	18	20	13
	(4) プライマリ・ケアセンターへの支援				
		プライマリ・ケア研修会開催件数(件)	3	3	3
	(5) 業務改善の推進				
	①業務改善活動	夢プロジェクト開催回数(回)	12	12	12
	②危機管理対策	危機管理研修等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
	③患者満足度の向上	患者満足度(%)	96.8	96.6	97.7
	2 経営の効率化等 に向けた主要な 取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上			
		経常収支比率(%)	113.7	107.8	108.4
		医業収支比率(%)	70.8	66.7	65.1
		診療報酬検討会開催回数(回)	12	12	12
(2) 患者数の確保に向けた取組					
		1日平均入院患者数(人/日)	33.0	36.0	33.4
		1日平均外来患者数(人/日)	65.7	68.0	55.0
(3) 医師・看護師の確保					
	医師充足率(%)	96.8	100.0	100.0	
	看護師充足率(%)	100.0	100.0	100.0	

3 志摩病院

(1) 病院の概況

志摩病院は、志摩地域の中核病院として、地域住民や観光客に質の高い医療サービスを提供し、二次救急医療や災害医療の中心的な役割と、地域医療支援病院として地域の病院や診療所を支援する役割を担っている。また、県内で数少ない精神病床を併せ持つ病院として、精神身体合併症患者への対応を行っている。

平成24年度から指定管理者により運営されている。許可病床数は、平成29年4月に一般病床を250床から14床削減して236床とし、精神病床100床と合わせて336床となっている。なお、一般病床52床が休床中であり、稼働病床数は284床となっている。

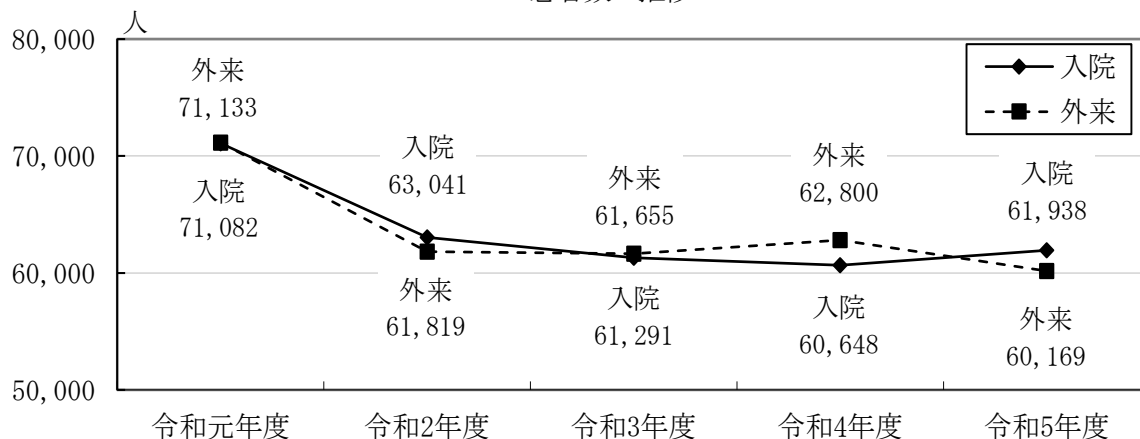
(2) 患者数の状況

令和5年度の延べ入院患者数は61,938人で、前年度に比べ1,290人増加している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は50.4%で、前年度に比べ0.9ポイント増加している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は59.6%で、前年度に比べ1.1ポイント増加している。

延べ外来患者数は60,169人で、前年度に比べ2,631人減少している。

項目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	61,938	60,648	1,290
1日平均入院患者数 (人)	169.2	166.2	3.0
延べ外来患者数 (人)	60,169	62,800	△ 2,631
1日平均外来患者数 (人)	247.6	258.4	△ 10.8
病床利用率(休床含む) (%)	50.4	49.5	0.9
〃 (休床除く) (%)	59.6	58.5	1.1
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	16.6	15.3	1.3

患者数の推移



(3) 経営成績

総収益は22億5,448万8,231円で、前年度に比べ13億5,133万275円増加している。これは主に、特別利益の計上による。

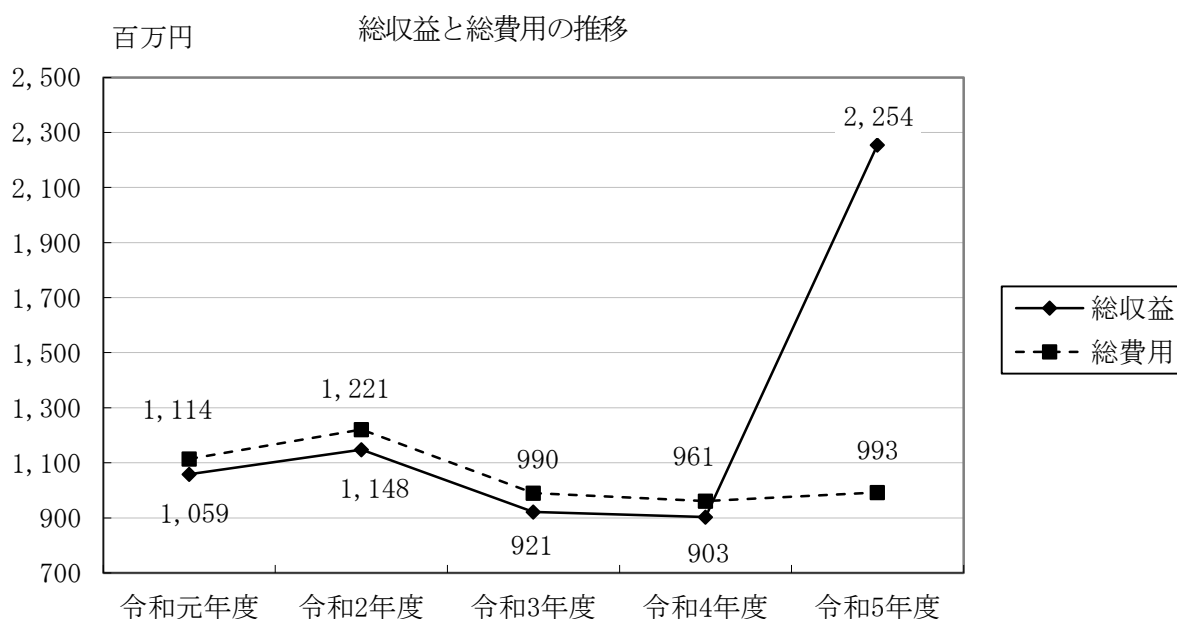
総費用は9億9,252万8,761円で、前年度に比べ3,183万2,396円増加している。これは主に、政策的医療交付金の増による。

この結果、純損益は12億6,195万9,470円の黒字となり、前年度に比べ13億1,949万7,879円改善している。

(単位：円)

科目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	2,254,488,231	903,157,956	1,351,330,275	249.6%
医業収益	6,301,192	6,400,941	△ 99,749	98.4%
医業外収益	948,196,719	896,757,015	51,439,704	105.7%
特別利益	1,299,990,320	0	1,299,990,320	皆増
総費用	992,528,761	960,696,365	31,832,396	103.3%
医業費用	931,572,012	898,610,810	32,961,202	103.7%
医業外費用	60,956,749	62,085,555	△ 1,128,806	98.2%
医業損益	△ 925,270,820	△ 892,209,869	△ 33,060,951	-
経常損益	△ 38,030,850	△ 57,538,409	19,507,559	-
純損益	1,261,959,470	△ 57,538,409	1,319,497,879	-

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。



(4) 中期経営計画における令和5年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和4年度 実績	令和5年度 目標	令和5年度 実績
1 診療機能 充実等 の回復 に向けた 取組	(1) 診療機能の回復・充実			
	1日平均入院患者数(人/日)	166.2	187.0	169.2
	1日平均外来患者数(人/日)	258.4	265.0	247.6
	1か月平均救急患者数(人/月)	300.9	402.6	358.2
	経常収支比率(%)	113.3	97.7	92.1
	患者満足度(%)	92.4	95.0	97.2

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、指定管理業務に係る数値目標として設定している。

【参考】

1 指定管理者による志摩病院運営の収支（決算額）

（単位：百万円）

	令和5年度	令和4年度	比較増減	主な増減理由
I 事業収益	3,146	3,153	△ 6	
医業収益	3,049	3,058	△ 8	
入院診療収益	2,227	2,221	7	入院患者数の増
外来診療収益	822	837	△ 15	外来患者数の減
医業外収益	97	95	2	
II 事業外収益	858	2,016	△ 1,158	国交付金の減
収益計 A	4,004	5,169	△ 1,165	
III 事業費用	4,343	4,555	△ 212	給与費の減
うち給与費	2,320	2,468	△ 147	
IV 事業外費用	6	6	△ 0	
費用計 B	4,349	4,561	△ 212	
経常損益 C (A-B)	△ 345	608	△ 953	
V 臨時収益 D	0	6	△ 6	
VI 臨時費用 E	25	0	25	
当期利益 (C+D-E)	△ 371	614	△ 984	

(注) 1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

2 志摩病院における政策的医療交付金、経営基盤強化交付金（平成24年度～令和3年度）及び地域医療確保交付金（令和4年度～）の推移

（単位：千円）

	指定管理 (第一期)						指定管理 (第二期)				
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
政策的医療交付金 (指定管理料)	465,881	474,816	481,948	485,780	516,680	524,630	559,296	581,124	594,143	590,447	620,094
経営基盤強化交付金 (赤字補てん)	458,628	401,917	220,354	251,856	134,284	69,287	156,489	235,797	0	0	—
うち当年度分 (当初交付額)	434,851	382,408	184,137	94,859	0	0	0	0	0	—	—
うち前年度分 (追加交付額)	23,777	19,509	36,217	156,997	134,284	69,287	156,489	235,797	0	0	—
地域医療確保交付金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
合 計	924,509	876,733	702,302	737,636	650,964	593,917	715,785	816,921	594,143	590,447	620,094

(注) 1 県と指定管理者の第一期基本協定（平成24年度～令和3年度）における経営基盤強化交付金（赤字補てん）は、「平成29年度以降において、当該経常損失が生じた場合は、甲（注：県）及び乙（注：指定管理者）が協議するもの」としている。

- 2 経営基盤強化交付金（赤字補てん）は、指定管理者の決算確定後に経常損失額から当初交付額を差し引いた額を翌年度に追加交付しているため、当該年度の当初交付額と翌年度の追加交付額を合計した額が当該年度の赤字補てん額となる。
- 3 県と指定管理者の第二期基本協定（令和4年度～令和13年度）では、経営基盤強化交付金に代わり、新たに地域医療確保交付金を創設している。地域医療確保交付金は、第二期基本協定において「地域の診療機能を維持するため、乙が効率的な管理運営を行ってもなお不採算となる診療科が生じた場合は、その診療科の経常損失相当額について、甲の予算の範囲内で交付金を乙に交付する」としている。
- 4 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

3 志摩病院における救急患者の受入体制

内科系（令和元年7月以降）

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼 間(8:30～17:00)	○	○	○	○	○	○	○
準夜間(17:00～22:30)	○	○	○	○	○	○	○
深 夜(22:30～ 8:30)	○	○	○	○	○	○	○

外科系（令和6年6月以降）

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼 間(8:30～17:00)	○	○	○	○	○	○	○
準夜間(17:00～22:30)	○		○	○	○		
深 夜(22:30～ 8:30)							

(注) 基本協定では、「内科系の救急体制については、24時間365日受入体制を維持する」「外科系の救急体制については、24時間365日の受入体制の実現に努める」としている。

4 志摩病院における常勤医師数の推移

診療科等	県直営											指定管理 (第一期)			指定管理 (第二期)		
	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4			
内科および救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	11	10	9	11	10	10	8			
外科	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5	3			
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2			
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1			
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1			
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0			
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0			
漢方内科・漢方皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1			
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
小計	20	22	24	30	23	26	26	24	22	22	24	24	25	20			
初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2	4	4	6	6	7	6			
合計	21	24	26	32	26	30	28	26	26	26	30	30	32	26			

(出典) 三重県病院事業庁提供資料

(注) 基本協定では、医療従事者の確保について、「診療に支障が生じないよう常勤の医師、看護師等の医療従事者を、年間を通じて安定的かつ適切に配置することに努める」、「常勤医師の確保、増員を図るため、地域医療振興協会内他施設等から派遣を受けるとともに、三重大学医局等に対して医師派遣の要請、現地での医師募集、自治医大卒業医師の確保等に努める」としている。

5 志摩病院における経営成績

項目	令和5年度	令和4年度	令和4年度全国平均		備考
			300床以上 400床未満	200床以上 300床未満	
1日平均入院患者数 (人)	169	166	225	157	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	248	258	576	393	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	36,071	36,613	59,103	51,279	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	13,676	13,552	16,188	13,146	多いほど良い
経常収支比率 (%)	91.6	114.3	104.9	102.9	高いほど良い
医業収支比率 (%)	70.0	72.2	91.7	86.8	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	70.8	73.4	55.8	59.3	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	15.3	11.5	10.3	13.1	低いほど良い

(出典) 三重県病院事業庁提供資料

(注) 1 この表における「経常収支比率」、「医業収支比率」、「職員給与費対医業収益比率」及び「他会計繰入金対経常収益比率」については、指定管理者における会計と、病院事業庁における会計を合算して算出している。また、算出において、政策的医療交付金等、一部の内容は2重計上とならないよう調整している。

2 令和4年度全国平均は、「令和4年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」による（全事業の300床以上400床未満（及び200床以上300床未満）の病院平均）。

6 県立病院課の中期経営計画における令和5年度の目標及び実績値

区分	目標項目	令和4年度 実績	令和5年度 目標	令和5年度 実績
1 各 県 立 病 院 に 対 す る 支 援	(1) 経常収支等の向上に向けた支援			
	経常収支比率 (%) ※こころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値	113.5	101.3	99.8
	医業収支比率 (%) ※同上	57.1	64.1	57.9
	(2) 医師・看護師の確保			
	医師充足率 (%) ※こころの医療センターと一志病院を合計した値	83.2	100.0	87.4
	看護師充足率 (%) ※同上	100.0	100.0	100.0
	(3) 患者満足度の向上			
	患者満足度 (%) ※同上	90.9	95.0	90.9

第5 決算諸表

1 損益計算書

比較損益計算書（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,418,267,909	2,371,651,078	46,616,831	102.0%
入院収益	1,841,275,156	1,748,266,551	93,008,605	105.3%
外来収益	431,812,597	472,632,977	△ 40,820,380	91.4%
その他医業収益	145,180,156	150,751,550	△ 5,571,394	96.3%
医業費用	5,095,699,550	5,040,826,858	54,872,692	101.1%
給与費	2,725,936,051	2,711,251,135	14,684,916	100.5%
材料費	251,576,766	242,400,649	9,176,117	103.8%
経 費	1,505,790,269	1,506,641,952	△ 851,683	99.9%
減価償却費	591,990,395	557,973,501	34,016,894	106.1%
資産減耗費	8,469,022	14,634,208	△ 6,165,186	57.9%
研究研修費	11,937,047	7,925,413	4,011,634	150.6%
医業損益	△ 2,677,431,641	△ 2,669,175,780	△ 8,255,861	-
医業外収益	2,847,399,351	3,405,802,043	△ 558,402,692	83.6%
受取利息配当金	39,106	38,999	107	100.3%
他会計補助金	123,963,000	136,104,000	△ 12,141,000	91.1%
長期前受金戻入	313,726,876	246,168,583	67,558,293	127.4%
補助金	6,552,000	5,059,000	1,493,000	129.5%
負担金	2,209,751,000	2,798,132,860	△ 588,381,860	79.0%
その他医業外収益	193,367,369	220,298,601	△ 26,931,232	87.8%
医業外費用	218,087,853	213,586,942	4,500,911	102.1%
支払利息及び企業債取扱諸費	75,079,562	79,258,005	△ 4,178,443	94.7%
患者外給食材料費	178,603	212,581	△ 33,978	84.0%
長期前払消費税償却	27,335,043	26,125,184	1,209,859	104.6%
雑損失	115,494,645	107,991,172	7,503,473	106.9%
経常損益	△ 48,120,143	523,039,321	△ 571,159,464	-
特別利益	2,937,624,571	0	2,937,624,571	皆増
過年度損益修正益	2,937,624,571	0	2,937,624,571	皆増
当年度純損益	2,889,504,428	523,039,321	2,366,465,107	552.4%
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 7,289,094,478	△ 7,812,133,799	523,039,321	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 4,399,590,050	△ 7,289,094,478	2,889,504,428	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 志摩病院分については、平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

比較損益計算書（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	1,772,146,770	1,710,446,938	61,699,832	103.6%
入院収益	1,454,106,943	1,376,841,743	77,265,200	105.6%
外来収益	292,937,441	300,883,235	△ 7,945,794	97.4%
その他医業収益	25,102,386	32,721,960	△ 7,619,574	76.7%
医業費用	3,081,990,574	3,119,693,707	△ 37,703,133	98.8%
給与費	2,044,127,815	2,076,419,874	△ 32,292,059	98.4%
材料費	190,482,274	177,439,859	13,042,415	107.4%
経 費	626,450,478	651,964,870	△ 25,514,392	96.1%
減価償却費	207,927,697	201,835,808	6,091,889	103.0%
資産減耗費	2,092,487	5,080,956	△ 2,988,469	41.2%
研究研修費	10,909,823	6,952,340	3,957,483	156.9%
医業損益	△ 1,309,843,804	△ 1,409,246,769	99,402,965	-
医業外収益	1,341,871,137	1,982,916,772	△ 641,045,635	67.7%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	78,392,000	89,393,000	△ 11,001,000	87.7%
長期前受金戻入	126,193,380	100,698,152	25,495,228	125.3%
補助金	0	0	0	-
負担金	1,112,920,000	1,757,509,000	△ 644,589,000	63.3%
その他医業外収益	24,365,757	35,316,620	△ 10,950,863	69.0%
医業外費用	126,393,764	123,765,679	2,628,085	102.1%
支払利息及び企業債取扱諸費	32,827,142	37,615,610	△ 4,788,468	87.3%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	4,840,404	5,011,271	△ 170,867	96.6%
雑損失	88,726,218	81,138,798	7,587,420	109.4%
経常損益	△ 94,366,431	449,904,324	△ 544,270,755	-
特別利益	1,549,964,943	0	1,549,964,943	皆増
過年度損益修正益	1,549,964,943	0	1,549,964,943	皆増
当年度純損益	1,455,598,512	449,904,324	1,005,694,188	323.5%
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 1,531,211,503	△ 1,981,115,827	449,904,324	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 75,612,991	△ 1,531,211,503	1,455,598,512	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	639,819,947	654,803,199	△ 14,983,252	97.7%
入院収益	387,168,213	371,424,808	15,743,405	104.2%
外来収益	138,875,156	171,749,742	△ 32,874,586	80.9%
その他医業収益	113,776,578	111,628,649	2,147,929	101.9%
医業費用	982,475,653	925,443,896	57,031,757	106.2%
給与費	587,523,774	543,223,286	44,300,488	108.2%
材料費	61,094,492	64,960,790	△ 3,866,298	94.0%
経 費	242,575,993	249,212,803	△ 6,636,810	97.3%
減価償却費	89,581,627	63,587,662	25,993,965	140.9%
資産減耗費	756,802	3,673,146	△ 2,916,344	20.6%
研究研修費	942,965	786,209	156,756	119.9%
医業損益	△ 342,655,706	△ 270,640,697	△ 72,015,009	-
医業外収益	457,528,580	428,475,685	29,052,895	106.8%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	21,146,000	22,035,000	△ 889,000	96.0%
長期前受金戻入	41,178,392	21,081,481	20,096,911	195.3%
補助金	0	0	0	-
負担金	381,794,000	357,747,860	24,046,140	106.7%
その他医業外収益	13,410,188	27,611,344	△ 14,201,156	48.6%
医業外費用	30,111,861	27,161,582	2,950,279	110.9%
支払利息及び企業債取扱諸費	1,023,963	621,781	402,182	164.7%
患者外給食材料費	178,603	212,581	△ 33,978	84.0%
長期前払消費税償却	3,413,283	3,171,430	241,853	107.6%
雑損失	25,496,012	23,155,790	2,340,222	110.1%
経常損益	84,761,013	130,673,406	△ 45,912,393	64.9%
特別利益	87,185,433	0	87,185,433	皆増
過年度損益修正益	87,185,433	0	87,185,433	皆増
当年度純損益	171,946,446	130,673,406	41,273,040	131.6%
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 21,562,561	△ 152,235,967	130,673,406	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	150,383,885	△ 21,562,561	171,946,446	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	6,301,192	6,400,941	△ 99,749	98.4%
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	6,301,192	6,400,941	△ 99,749	98.4%
医業費用	931,572,012	898,610,810	32,961,202	103.7%
給与費	0	0	0	-
材料費	0	0	0	-
経 費	633,282,698	601,966,496	31,316,202	105.2%
減価償却費	292,678,821	290,764,208	1,914,613	100.7%
資産減耗費	5,610,493	5,880,106	△ 269,613	95.4%
研究研修費	0	0	0	-
医業損益	△ 925,270,820	△ 892,209,869	△ 33,060,951	-
医業外収益	948,196,719	896,757,015	51,439,704	105.7%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
長期前受金戻入	145,366,407	123,419,116	21,947,291	117.8%
補助金	6,552,000	5,059,000	1,493,000	129.5%
負担金	640,738,000	610,989,000	29,749,000	104.9%
その他医業外収益	155,540,312	157,289,899	△ 1,749,587	98.9%
医業外費用	60,956,749	62,085,555	△ 1,128,806	98.2%
支払利息及び企業債取扱諸費	41,227,324	41,018,964	208,360	100.5%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	18,953,876	17,791,213	1,162,663	106.5%
雑損失	775,549	3,275,378	△ 2,499,829	23.7%
経常損益	△ 38,030,850	△ 57,538,409	19,507,559	-
特別利益	1,299,990,320	0	1,299,990,320	皆増
過年度損益修正益	1,299,990,320	0	1,299,990,320	皆増
当年度純損益	1,261,959,470	△ 57,538,409	1,319,497,879	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 5,736,320,414	△ 5,678,782,005	△ 57,538,409	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 4,474,360,944	△ 5,736,320,414	1,261,959,470	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

比較損益計算書（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	0	0	0	-
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	0	0	0	-
医業費用	99,661,311	97,078,445	2,582,866	102.7%
給与費	94,284,462	91,607,975	2,676,487	102.9%
材料費	0	0	0	-
経 費	3,481,100	3,497,783	△ 16,683	99.5%
減価償却費	1,802,250	1,785,823	16,427	100.9%
資産減耗費	9,240	0	9,240	皆増
研究研修費	84,259	186,864	△ 102,605	45.1%
医業損益	△ 99,661,311	△ 97,078,445	△ 2,582,866	-
医業外収益	99,802,915	97,652,571	2,150,344	102.2%
受取利息配当金	39,106	38,999	107	100.3%
他会計補助金	24,425,000	24,676,000	△ 251,000	99.0%
長期前受金戻入	988,697	969,834	18,863	101.9%
補助金	0	0	0	-
負担金	74,299,000	71,887,000	2,412,000	103.4%
その他医業外収益	51,112	80,738	△ 29,626	63.3%
医業外費用	625,479	574,126	51,353	108.9%
支払利息及び企業債取扱諸費	1,133	1,650	△ 517	68.7%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	127,480	151,270	△ 23,790	84.3%
雑損失	496,866	421,206	75,660	118.0%
経常損益	△ 483,875	0	△ 483,875	-
特別利益	483,875	0	483,875	皆増
過年度損益修正益	483,875	0	483,875	皆増
当年度純損益	0	0	0	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	0	0	0	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 貸借対照表

比較貸借対照表（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	7,694,271,090	76.9%	7,992,067,518	75.9%	△ 297,796,428	96.3%
有形固定資産	7,402,805,297	74.0%	7,684,906,438	73.0%	△ 282,101,141	96.3%
土地	464,839,163	4.6%	490,670,051	4.7%	△ 25,830,888	94.7%
建物	5,825,413,425	58.2%	6,014,501,348	57.1%	△ 189,087,923	96.9%
構築物	243,264,891	2.4%	261,360,053	2.5%	△ 18,095,162	93.1%
器械備品	856,327,526	8.6%	886,982,451	8.4%	△ 30,654,925	96.5%
車両	2,732,785	0.0%	4,006,217	0.0%	△ 1,273,432	68.2%
建設仮勘定	10,227,507	0.1%	27,386,318	0.3%	△ 17,158,811	37.3%
無形固定資産	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
電話加入権	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
投資その他の資産	289,166,904	2.9%	304,862,191	2.9%	△ 15,695,287	94.9%
長期貸付金	3,600,000	0.0%	3,000,000	0.0%	600,000	120.0%
長期前払消費税	285,396,904	2.9%	301,692,191	2.9%	△ 16,295,287	94.6%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	2,310,895,423	23.1%	2,533,685,826	24.1%	△ 222,790,403	91.2%
現金預金	1,841,130,575	18.4%	1,295,915,476	12.3%	545,215,099	142.1%
未収金	456,328,205	4.6%	1,221,552,807	11.6%	△ 765,224,602	37.4%
貯蔵品	10,052,863	0.1%	11,114,001	0.1%	△ 1,061,138	90.5%
前払金	383,780	0.0%	1,029,642	0.0%	△ 645,862	37.3%
その他流動資産	3,000,000	0.0%	4,073,900	0.0%	△ 1,073,900	73.6%
資産合計	10,005,166,513	100.0%	10,525,753,344	100.0%	△ 520,586,831	95.1%
固定負債	10,459,862,809	104.5%	10,896,534,407	103.5%	△ 436,671,598	96.0%
企業債	4,793,916,065	47.9%	5,161,561,789	49.0%	△ 367,645,724	92.9%
他会計借入金	4,580,592,278	45.8%	4,670,592,278	44.4%	△ 90,000,000	98.1%
引当金	1,085,354,466	10.8%	1,064,380,340	10.1%	20,974,126	102.0%
流動負債	1,265,114,674	12.6%	1,370,924,166	13.0%	△ 105,809,492	92.3%
企業債	737,145,724	7.4%	707,550,107	6.7%	29,595,617	104.2%
引当金	182,320,000	1.8%	182,919,000	1.7%	△ 599,000	99.7%
未払金	334,805,986	3.3%	469,990,665	4.5%	△ 135,184,679	71.2%
未払消費税及び 地方消費税	1,472,500	0.0%	0	0.0%	1,472,500	皆増
その他流動負債	9,370,464	0.1%	10,464,394	0.1%	△ 1,093,930	89.5%
繰延収益	996,810,552	10.0%	3,864,420,721	36.7%	△ 2,867,610,169	25.8%
長期前受金	996,810,552	10.0%	3,864,420,721	36.7%	△ 2,867,610,169	25.8%
負債合計	12,721,788,035	127.2%	16,131,879,294	153.3%	△ 3,410,091,259	78.9%
資本金	311,409,778	3.1%	311,409,778	3.0%	0	100.0%
剰余金	△ 3,028,031,300	△30.3%	△ 5,917,535,728	△56.2%	2,889,504,428	-
資本剰余金	1,371,558,750	13.7%	1,371,558,750	13.0%	0	100.0%
利益剰余金 (△は欠損金)	△ 4,399,590,050	△44.0%	△ 7,289,094,478	△69.3%	2,889,504,428	-
資本合計	△ 2,716,621,522	△27.2%	△ 5,606,125,950	△53.3%	2,889,504,428	-
負債・資本合計	10,005,166,513	100.0%	10,525,753,344	100.0%	△ 520,586,831	95.1%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度 比
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,388,621,667	72.4%	3,521,847,038	64.7%	△ 133,225,371	96.2%
有形固定資産	3,321,794,435	70.9%	3,453,111,239	63.5%	△ 131,316,804	96.2%
土地	272,188,972	5.8%	298,019,860	5.5%	△ 25,830,888	91.3%
建物	2,773,907,099	59.2%	2,869,625,004	52.8%	△ 95,717,905	96.7%
構築物	65,883,350	1.4%	70,815,557	1.3%	△ 4,932,207	93.0%
器械備品	207,721,406	4.4%	207,820,782	3.8%	△ 99,376	100.0%
車両	2,093,608	0.0%	3,139,235	0.1%	△ 1,045,627	66.7%
建設仮勘定	0	0.0%	3,690,801	0.1%	△ 3,690,801	皆減
無形固定資産	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
電話加入権	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
投資その他の資産	66,383,532	1.4%	68,292,099	1.3%	△ 1,908,567	97.2%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	66,213,532	1.4%	68,122,099	1.3%	△ 1,908,567	97.2%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	1,294,439,673	27.6%	1,917,577,707	35.3%	△ 623,138,034	67.5%
現金預金	997,853,740	21.3%	891,534,625	16.4%	106,319,115	111.9%
未収金	289,664,478	6.2%	1,017,069,489	18.7%	△ 727,405,011	28.5%
貯蔵品	6,665,674	0.1%	7,718,261	0.1%	△ 1,052,587	86.4%
前払金	255,781	0.0%	956,854	0.0%	△ 701,073	26.7%
その他流動資産	0	0.0%	298,478	0.0%	△ 298,478	皆減
資産合計	4,683,061,340	100.0%	5,439,424,745	100.0%	△ 756,363,405	86.1%
固定負債	3,150,276,203	67.3%	3,831,142,275	70.4%	△ 680,866,072	82.2%
企業債	1,893,947,937	40.4%	2,182,021,702	40.1%	△ 288,073,765	86.8%
他会計借入金	375,575,669	8.0%	761,913,818	14.0%	△ 386,338,149	49.3%
引当金	880,752,597	18.8%	887,206,755	16.3%	△ 6,454,158	99.3%
流動負債	772,515,279	16.5%	868,984,924	16.0%	△ 96,469,645	88.9%
企業債	400,830,665	8.6%	400,505,101	7.4%	325,564	100.1%
引当金	139,730,000	3.0%	140,261,000	2.6%	△ 531,000	99.6%
未払金	228,423,477	4.9%	324,592,419	6.0%	△ 96,168,942	70.4%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動負債	3,531,137	0.1%	3,626,404	0.1%	△ 95,267	97.4%
繰延収益	645,704,541	13.8%	2,080,330,741	38.2%	△ 1,434,626,200	31.0%
長期前受金	645,704,541	13.8%	2,080,330,741	38.2%	△ 1,434,626,200	31.0%
負債合計	4,568,496,023	97.6%	6,780,457,940	124.7%	△ 2,211,961,917	67.4%
資本金	188,628,538	4.0%	188,628,538	3.5%	0	100.0%
剰余金	△ 74,063,221	△1.6%	△ 1,529,661,733	△28.1%	1,455,598,512	-
資本剰余金	1,549,770	0.0%	1,549,770	0.0%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 75,612,991	△1.6%	△ 1,531,211,503	△28.2%	1,455,598,512	-
資本合計	114,565,317	2.4%	△ 1,341,033,195	△24.7%	1,455,598,512	-
負債・資本合計	4,683,061,340	100.0%	5,439,424,745	100.0%	△ 756,363,405	86.1%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
固定資産	831,752,934	46.6%	837,799,762	47.5%	△ 6,046,828	99.3%
有形固定資産	783,280,460	43.9%	787,409,799	44.7%	△ 4,129,339	99.5%
土地	39,881,445	2.2%	39,881,445	2.3%	0	100.0%
建物	509,860,953	28.6%	500,879,877	28.4%	8,981,076	101.8%
構築物	34,559,274	1.9%	32,774,428	1.9%	1,784,846	105.4%
器械備品	195,007,334	10.9%	213,174,790	12.1%	△ 18,167,456	91.5%
車両	471,454	0.0%	699,259	0.0%	△ 227,805	67.4%
建設仮勘定	3,500,000	0.2%	0	0.0%	3,500,000	皆増
無形固定資産	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
電話加入権	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
投資その他の資産	48,052,274	2.7%	49,969,763	2.8%	△ 1,917,489	96.2%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	48,052,274	2.7%	49,969,763	2.8%	△ 1,917,489	96.2%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	953,657,253	53.4%	925,198,895	52.5%	28,458,358	103.1%
現金預金	798,156,549	44.7%	717,256,624	40.7%	80,899,925	111.3%
未収金	152,040,727	8.5%	203,698,321	11.6%	△ 51,657,594	74.6%
貯蔵品	3,387,189	0.2%	3,395,740	0.2%	△ 8,551	99.7%
前払金	72,788	0.0%	72,788	0.0%	0	100.0%
その他流動資産	0	0.0%	775,422	0.0%	△ 775,422	皆減
資産合計	1,785,410,187	100.0%	1,762,998,657	100.0%	22,411,530	101.3%
固定負債	1,295,244,876	72.5%	1,318,525,386	74.8%	△ 23,280,510	98.2%
企業債	384,812,457	21.6%	365,347,155	20.7%	19,465,302	105.3%
他会計借入金	716,013,285	40.1%	787,286,242	44.7%	△ 71,272,957	90.9%
引当金	194,419,134	10.9%	165,891,989	9.4%	28,527,145	117.2%
流動負債	173,361,450	9.7%	188,387,029	10.7%	△ 15,025,579	92.0%
企業債	74,177,798	4.2%	43,476,233	2.5%	30,701,565	170.6%
引当金	31,807,000	1.8%	31,415,000	1.8%	392,000	101.2%
未払金	65,192,904	3.7%	110,374,448	6.3%	△ 45,181,544	59.1%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動負債	2,183,748	0.1%	3,121,348	0.2%	△ 937,600	70.0%
繰延収益	119,043,555	6.7%	230,272,382	13.1%	△ 111,228,827	51.7%
長期前受金	119,043,555	6.7%	230,272,382	13.1%	△ 111,228,827	51.7%
負債合計	1,587,649,881	88.9%	1,737,184,797	98.5%	△ 149,534,916	91.4%
資本金	36,867,441	2.1%	36,867,441	2.1%	0	100.0%
剰余金	160,892,865	9.0%	△ 11,053,581	△0.6%	171,946,446	-
資本剰余金	10,508,980	0.6%	10,508,980	0.6%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	150,383,885	8.4%	△ 21,562,561	△1.2%	171,946,446	-
資本合計	197,760,306	11.1%	25,813,860	1.5%	171,946,446	-
負債・資本合計	1,785,410,187	100.0%	1,762,998,657	100.0%	22,411,530	101.3%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度 比
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,467,280,919	99.3%	3,624,611,317	110.2%	△ 157,330,398	95.7%
有形固定資産	3,295,642,327	94.4%	3,440,873,835	104.6%	△ 145,231,508	95.8%
土地	152,768,746	4.4%	152,768,746	4.6%	0	100.0%
建物	2,541,645,373	72.8%	2,643,996,467	80.4%	△ 102,351,094	96.1%
構築物	142,822,267	4.1%	157,770,068	4.8%	△ 14,947,801	90.5%
器械備品	451,510,711	12.9%	462,475,314	14.1%	△ 10,964,603	97.6%
車両	167,723	0.0%	167,723	0.0%	0	100.0%
建設仮勘定	6,727,507	0.2%	23,695,517	0.7%	△ 16,968,010	28.4%
無形固定資産	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
電話加入権	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
投資その他の資産	170,203,603	4.9%	182,302,493	5.5%	△ 12,098,890	93.4%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	170,203,603	4.9%	182,302,493	5.5%	△ 12,098,890	93.4%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	25,382,630	0.7%	△ 335,441,976	△10.2%	360,824,606	-
現金預金	25,382,630	0.7%	△ 336,226,973	△10.2%	361,609,603	-
未収金	0	0.0%	784,997	0.0%	△ 784,997	皆減
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資産合計	3,492,663,549	100.0%	3,289,169,341	100.0%	203,494,208	106.2%
固定負債	6,003,188,778	171.9%	5,734,564,933	174.3%	268,623,845	104.7%
企業債	2,515,005,671	72.0%	2,613,992,932	79.5%	△ 98,987,261	96.2%
他会計借入金	3,488,183,107	99.9%	3,120,572,001	94.9%	367,611,106	111.8%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動負債	287,469,891	8.2%	294,095,589	8.9%	△ 6,625,698	97.7%
企業債	262,087,261	7.5%	262,643,773	8.0%	△ 556,512	99.8%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
未払金	25,382,630	0.7%	31,451,816	1.0%	△ 6,069,186	80.7%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動負債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
繰延収益	230,952,025	6.6%	1,551,415,434	47.2%	△ 1,320,463,409	14.9%
長期前受金	230,952,025	6.6%	1,551,415,434	47.2%	△ 1,320,463,409	14.9%
負債合計	6,521,610,694	186.7%	7,580,075,956	230.5%	△ 1,058,465,262	86.0%
資本金	85,913,799	2.5%	85,913,799	2.6%	0	100.0%
剰余金	△ 3,114,860,944	△89.2%	△ 4,376,820,414	△133.1%	1,261,959,470	-
資本剰余金	1,359,500,000	38.9%	1,359,500,000	41.3%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 4,474,360,944	△128.1%	△ 5,736,320,414	△174.4%	1,261,959,470	-
資本合計	△ 3,028,947,145	△86.7%	△ 4,290,906,615	△130.5%	1,261,959,470	-
負債・資本合計	3,492,663,549	100.0%	3,289,169,341	100.0%	203,494,208	106.2%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（県立病院課）

(単位:円)

科 目	令和5年度		令和4年度		比較増減	対前年度 比
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	6,615,570	15.0%	7,809,401	22.9%	△ 1,193,831	84.7%
有形固定資産	2,088,075	4.7%	3,511,565	10.3%	△ 1,423,490	59.5%
土地	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
構築物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
器械備品	2,088,075	4.7%	3,511,565	10.3%	△ 1,423,490	59.5%
車両	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
電話加入権	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	4,527,495	10.3%	4,297,836	12.6%	229,659	105.3%
長期貸付金	3,600,000	8.2%	3,000,000	8.8%	600,000	120.0%
長期前払消費税	927,495	2.1%	1,297,836	3.8%	△ 370,341	71.5%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	37,415,867	85.0%	26,351,200	77.1%	11,064,667	142.0%
現金預金	19,737,656	44.8%	23,351,200	68.4%	△ 3,613,544	84.5%
未収金	14,623,000	33.2%	0	0.0%	14,623,000	皆増
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	55,211	0.1%	0	0.0%	55,211	皆増
その他流動資産	3,000,000	6.8%	3,000,000	8.8%	0	100.0%
資産合計	44,031,437	100.0%	34,160,601	100.0%	9,870,836	128.9%
固定負債	11,152,952	25.3%	12,301,813	36.0%	△ 1,148,861	90.7%
企業債	150,000	0.3%	200,000	0.6%	△ 50,000	75.0%
他会計借入金	820,217	1.9%	820,217	2.4%	0	100.0%
引当金	10,182,735	23.1%	11,281,596	33.0%	△ 1,098,861	90.3%
流動負債	31,768,054	72.1%	19,456,624	57.0%	12,311,430	163.3%
企業債	50,000	0.1%	925,000	2.7%	△ 875,000	5.4%
引当金	10,783,000	24.5%	11,243,000	32.9%	△ 460,000	95.9%
未払金	15,806,975	35.9%	3,571,982	10.5%	12,234,993	442.5%
未払消費税及び 地方消費税	1,472,500	3.3%	0	0.0%	1,472,500	皆増
その他流動負債	3,655,579	8.3%	3,716,642	10.9%	△ 61,063	98.4%
繰延収益	1,110,431	2.5%	2,402,164	7.0%	△ 1,291,733	46.2%
長期前受金	1,110,431	2.5%	2,402,164	7.0%	△ 1,291,733	46.2%
負債合計	44,031,437	100.0%	34,160,601	100.0%	9,870,836	128.9%
資本金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
利益剰余金 (△は欠損金)	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本合計	0	0.0%	0	0.0%	0	-
負債・資本合計	44,031,437	100.0%	34,160,601	100.0%	9,870,836	128.9%

(注) 構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

業務実績表

区分	実績					績					すう勢比率				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
こころ医療のセンター	延べ入院患者数（人）	96,746	81,329	69,299	68,292	74,552	100.0	84.1	71.6	70.6	77.1				
	延べ外来患者数（人）	51,780	43,377	45,378	45,476	43,935	100.0	83.8	87.6	87.8	84.8				
	計	148,526	124,706	114,677	113,768	118,487	100.0	84.0	77.2	76.6	79.8				
	入院外来収益（千円）	2,050,436	1,773,772	1,666,078	1,677,725	1,747,044	100.0	86.5	81.3	81.8	85.2				
	延べ入院患者数（人）	13,561	13,251	12,684	12,047	12,234	100.0	97.7	93.5	88.8	90.2				
一志病院	延べ外来患者数（人）	18,966	18,093	17,214	15,977	13,353	100.0	95.4	90.8	84.2	70.4				
	計	32,527	31,344	29,898	28,024	25,587	100.0	96.4	91.9	86.2	78.7				
	入院外来収益（千円）	539,590	545,461	529,683	543,175	526,043	100.0	101.1	98.2	100.7	97.5				
志摩病院	延べ入院患者数（人）	71,082	63,041	61,291	60,648	61,938	100.0	88.7	86.2	85.3	87.1				
	延べ外来患者数（人）	71,133	61,819	61,655	62,800	60,169	100.0	86.9	86.7	88.3	84.6				
	計	142,215	124,860	122,946	123,448	122,107	100.0	87.8	86.5	86.8	85.9				
	入院外来収益（千円）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	延べ入院患者数（人）	181,389	157,621	143,274	140,987	148,724	100.0	86.9	79.0	77.7	82.0				
計	延べ外来患者数（人）	141,879	123,289	124,247	124,253	117,457	100.0	86.9	87.6	87.6	82.8				
	計	323,268	280,910	267,521	265,240	266,181	100.0	86.9	82.8	82.0	82.3				

(注) 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、算出していない項目がある。

業務分析表

区分	このころの医療センター				一志病院				志摩病院				備考
	全国同規模病院(R4)		全国同規模病院(R4)		全国同規模病院(R4)		全国同規模病院(R4)		全国同規模病院(R4)		全国同規模病院(R4)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
病床数・利用率	計	348	348	318	-	82	82	82	336	336	336	-	病床利用率 年延入院患者数 入院病床数
	うち一般	54.6	53.8	62.1	62.3	40.9	40.3	40.8	60.2	49.5	50.4	66.6	
うち精神	-	-	-	-	46	46	46	236	-	236	-	-	
	348	348	318	-	75.5	71.8	72.7	58.8	43.1	41.4	45.3	67.9	
	54.6	53.8	62.1	62.8	-	-	-	-	100	100	100	-	
患者数	1日平均患者数(人)	190	187	204	162	35	33	33	44	168	169	225	年延入院患者数 入院診療日数
	外来	188	187	181	143	71	66	55	129	255	248	576	年延外来患者数 外来診療日数
	外来入院患者比率(%)	65.5	66.6	58.9	60.4	135.7	132.6	109.1	206.2	100.6	103.5	172.6	年延外来患者数 年延入院患者数
	医師	11.6	13.9	14.1	10.4	13.9	16.5	11.1	6.9	-	-	3.4	年延入院患者数 年延医師数
	職員1人あたり患者数(人)	7.6	9.3	8.3	6.3	18.9	21.9	12.2	14.2	-	-	5.8	年延外来患者数 年延医師数
収入(円)	職員1人あたり診療収入	1.3	1.2	1.4	1.2	0.9	0.8	0.6	1.0	-	-	0.7	年延入院患者数 年延看護職員数
	患者1人1日あたり診療収入	0.8	0.8	0.8	0.7	1.2	1.1	0.7	2.0	-	-	1.3	年延外来患者数 年延看護職員数
	職員1人1日あたり診療収入	19,778	20,161	19,505	23,046	27,219	30,831	31,647	27,021	-	-	59,103	入院収益 年延入院患者数
	職員1人1日あたり診療収入	6,511	6,616	6,668	8,706	10,715	10,750	10,400	9,287	-	-	16,188	外来収益 年延外来患者数
費用(円)	患者1人1日あたり薬品費	277,865	342,323	330,880	295,272	580,158	744,075	479,092	317,885	-	-	291,807	入院外来収益 年延医師数
	患者1人1日あたり薬品費	30,385	29,130	31,847	35,123	36,043	37,486	25,666	44,347	-	-	64,041	入院外来収益 年延看護職員数
対医療収益率(%)	入院患者あたり給食材料費	682	663	770	1,136	540	543	713	1,364	-	-	4,717	薬品費(投薬注剤) 年延入院外来患者数
	入院患者あたり給食材料費	906	918	918	361	765	786	830	360	-	-	372	患者用給食材料費 年延入院患者数
	薬品費	4.2	4.0	4.6	4.9	2.2	2.1	2.5	7.8	-	-	12.9	薬品費 医療収益
	その他医療材料費	2.5	2.1	1.6	1.1	5.7	5.5	4.4	6.3	-	-	10.9	その他医療材料費 医療収益
他会計繰入金	54.2	53.2	54.0	42.9	49.5	49.0	51.9	32.6	-	-	12.4	他会計繰入金 医療収益	

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

2 全国同規模病院(R4)は、「令和4年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」より、「このころの医療センターは「精神科病院」、一志病院は「50床以上100床未満」、志摩病院は「300床以上400床未満」の平均を引用している。(許可病床が同規模の病院と比較)

3 病床数・病床利用率の計は、療養病床・結核病床・感染症病床を含む。

4 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、参考として記載しており、また算出していない項目がある。

令和5年度三重県公営企業会計（病院事業庁）
決算審査意見書

令和6年9月

三重県監査委員事務局
〒514-0004 津市栄町1丁目954番地
電話(059)224-2924

